

21 文章の推敲

組	
番号	
氏名	

1

町田さんは、六年生の一年間の目標を作文にまとめるために下書きをしました。読み返してみると、書き直した方がよいと思ったところが見つかりました。書き直した方がよいと思った理由と、どのように書き直した方がよいかを説明したものととして、ふさわしいものを1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

※文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

【書き直した方がよいと思ったところ】

① わたしは、六年生として学校のためになるような仕事や活動に積極的に取り組もうと思った。② しかし、具体的にどんなことをしたらよいのかなやんでしまった。③ そこで、先生に相談すると、
 「あなたの好きなことが、学校のためにつながるとよいですね。」
 と、話してくださいだったので、花が好きなどころを生かせばよいと気づいたので、花いっぱいのできれいな学校にしようと思った。

- ②の文には、「だれが」という主語が抜けているから、主語となる「先生」を書き足した方がよい。
- ③の文は、「るので」が続いて長くなり、分かりにくいから、一文を分けて書いた方がよい。
- ③の文の「」の部分には、先生が話した言葉だから、「話してください」まで、「」に入れた方がよい。
- ①から③までの文は、述語が「した」になっているから、「です」や「ます」も使った方がよい。

解	答
2	

調 どう書き直せば良いかを考えて、右の文章を具体的に書き直してみよう。

※平成20年度全国学力・学習状況調査

小学校6年国語問題より

《正答率》

県	29.7%
全国	33.7%